

柔道しずおか

第16号

平成25年3月 静岡県柔道協会発行

事務局 〒420-0911 静岡市葵区瀬名7-2-38 佐々木秀男
TEL 054-265-5272 FAX 054-265-5274

【巻頭言】

中学武道（柔道）協力者を体験して

静岡県柔道協会 副会長 八段 高田勝之



駅から真直ぐに急な上り坂が続く。額にじむ汗を感じ一息入れ

ようと振り返ると壮大な相模湾が広がり、朝日に光る海上に近くの初島遠くに伊豆大島が美しい姿を見せている。中学武道の必須化に伴い柔道授業の協力者として派遣され、一年振りに眺める相模湾である。少し乱れた呼吸を整え熱海中学へ向かう。

文科省は二〇〇六年教育基本法に「伝統と文化の尊重」を盛り込み、二〇一二年四月から中学にダンスと武道の必須授業を取り入れました。静岡県内の柔道選択率は七〇パーセントを超えたという。

県教委で出した「柔道授業の安全な指導のための留意点」柔道事故〇を目標して「(2) 武道(柔道)のねらい」「第一学年及び第二学年」によると、

「ア、相手の動きに応じた基本動作から基本となる技を用いて投げたり抑えたりするなどの攻防を展開することを通して技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる技ができるようにする。イ、武道に積極的に取り組むと

もに相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること。分担した役割を果そうとすることなどや禁止技を用いないなど、健康・安全に気を配ることができるようになる。

ウ、武道の特性や成立ち、伝統的な考え方や、技の、名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。」

柔道を取り入れることにより懸念されることは、負傷事故であります。新聞・テレビ等で柔道は重大な事故につながる、「必須化は絶対反対」などの意見が報道されました。特に頭部の負傷については一般の方々には当然ながら柔道人にとっても十分に留意しなければならぬところではあります。これは他のスポーツにとっても言えることだと思います。

柔道事故〇を目標して当協会も平成二十四年度武道必須化に伴う指導協力者を指名、人材登録をして要請があれば派遣することになりました。そして県教委の「地域連携柔道協力者派遣事業」に協力しているところではあります。又、全日本柔道連盟も「都道府県柔道指導者講

習会」の受講を義務付け、安全指導の徹底と医学知識の修得や事故に遭遇した際の応急処置の方法やその対応等に万全を期しようと指導者の能力向上に努めております。私も協力者として前記中学に、昨年に続き今回も要請を受け、武道担当の先生の補助として協力できたことと、一年振りに会った子供たちの成長した姿に接して大いに喜びを感じたところです。

熱海中学には柔道部はありませんでした。柔道を選択することについては保護者側からも怪我の心配や危険性について危惧する声や質問等があったようですが、敢えて柔道選択に踏み切ったようです。柔道経験者は全生徒の中で町道場へ通う子が一名のみで他はすべて初心者でした。柔道衣の着方・帯の結び方、生活様式の違いから襟を合わせることや帯を結ぶことが初めてだという子も多いようです。礼法・受身の必要性を理解させ柔道の楽しさを知ってもらい、その喜びを先生と生徒とともに味わうことができました。

ただ一クラスが年十回という短い時間の中でできることは限られます。協力者としてふと思うことは「大外刈」の指導の禁止です。頭部の負傷事故に思いをやれば後ろに投げる技は全て禁止の考えに至ってしまいそうです。他の技は大外刈に比べて安全かといえ、技術の伴わない初心者にとつては全ての技が危険な技に思われ

てしまいそうです。一学年でわずか十回の授業であるのなら危険性のできるだけ少ないと思われる技に限定した方がよいのではないかと。例えば、膝車・支釣込足・大腰等……もちろん投技については「引き手は絶対に離さない」ことを厳守させるなど。

授業担当の先生も指導方法を熱心に研究され、指導していることが伝わってきます。「心・技・体」・「克己心」・「精力善用」・「自他共栄」の言葉を引用して、礼法・安全・協調性・思いやりの心・向上心に關すること等分りやすく伝えており、私も聞いていて初心に帰った思いでした。

又、実技で具体的な一例としては、四人一組のグループをつくり課題（後ろ受身、前回り受身など）を与えて、それぞれ上達の度合いを「一本・技有り・有効」で評価する。自らが評価し、評価されることよって、技術の向上と技の効果の判断が自然に理解されていくなど大変興味深く参考になりました。

「おはようございます！」の元気なあいさつに迎えられる、孫と同年代の子供たちと柔道衣を着て汗を流し、これに関わる多くの人たちとの出会いを心から感謝します。終わりにこの貴重な体験の機会を与えてくれた皆様に厚くお礼を申し上げ報告いたします。ありがとうございました。

第 67 回 国民体育大会柔道競技 報告

第 67 回国民体育大会柔道競技は、平成 24 年 10 月 6 日から 8 日の間、岐阜県大垣市総合体育館において開催されました。

本大会出場を懸けた東海ブロック予選では、成年女子及び少年男女がそれぞれ健闘しましたが惜しくも出場枠を獲得することができず、昨年に引き続き成年男子のみの出場となりました。

前回は、本県出場選手全員初出場というフレッシュなチームでしたが、今回は、齋藤・増田のベテランを中心として、次鋒で出場予定であった鈴木(拓殖

総 監 督	野田昭一	静岡県柔道協会理事長
総 務	宮本昌人	常葉学園高校教諭
監 督	渡辺達也	静岡県警察
コ ー チ	間宮幸男	浜松学院高校教諭
主 務	磯部拡美	庵原高校教諭
トレーナー	赤池 理	アカイケ鍼灸接骨院
先鋒(60kg以下)	大石悠太	近畿大学3年
次鋒(73kg以下)	眞野洋光	静岡県警察
中堅(90kg以下)	山下諒輔	静岡県警察
副将(90kg超)	増田圭省	静岡県警察
大将(無差別)	齊藤和仁	静岡県警察

大)の負傷により選手変更となった眞野、そして初出場の山下・大石がどれだけチームの勝利に貢献できるのかがポイントとなるチーム構成となりました。結束力を発揮し、5位以上の入賞を目標に掲げ大会に臨みました。

1 回戦

静岡県の 1 回戦は、群馬県警の選手を中心とした群馬県との対戦となりました。

先鋒(60kg以下)の大石(近畿大学)は動きが硬く、開始早々に相手の一本背負投を不用意に受け一本負けしリードを許す。

次鋒(73kg以下)の眞野(県警)は積極的に技を掛けるもい

1 回戦	群馬県	1	対	2	静岡県
先 鋒	芹 澤	○	一本背負投		大 石
次 鋒	梶 原	×	引き分け	×	眞 野
中 堅	小 島		膝車	○	山 下
副 将	阿 倍		指導 2	⊖	増 田
大 将	渡 辺	×	引き分け	×	齊 藤

まひとつ攻めきれず引き分け。中堅(90kg以下)の山下(県警)は攻撃的な柔道を展開し、開始 2 分 30 秒「膝車」で一本勝ちし内容を五分に戻す。

副将(90kg超)の増田(県警)は開始から袖釣込腰等で積極的に攻め、指導二を奪い優勢勝ち。

大将(無差別)の齋藤(県警)は右内股・大外刈で積極的に攻めるも決め手なく引き分け。

2 対 1 で勝利したものの各選手の動きは硬く、今一度自分の組み手を確認し、積極的に技を仕掛けることができるように 2 回戦での奮起を促す。

2 回戦

上位入賞の常連であり、京都府警察の選手を中心とした京都府との対戦となる。

先鋒の大石は 1 回戦と比べ技

2 回戦	京都府	2	対	1	静岡県
先 鋒	鳥 田	×	引き分け	×	大 石
次 鋒	佐 野	×	引き分け	×	眞 野
中 堅	平 尾	○	横四方固		山 下
副 将	菊 川		小外刈	○	増 田
大 将	浅 野	⊖	指導 3		齊 藤



安齋会長のアドバイスを受ける選手

が出るようになり背負い投げを中心に攻め込むも決め手なく引き分け。

次鋒の眞野は、対戦相手とは過去対戦していることから、互いに牽制しあつて膠着状態となり攻めを欠き、ポイントを奪えず、時間切れ引き分け。

中堅の山下の相手は、中量級ながら全日本選手権大会に出場している業師であり、山下は、

自分の信条でもある積極柔道を展開し攻め込むも、後半に一瞬気を許した隙に巧みに寝技で抑え込まれ一本負け。

副将の増田はリードされている場面ではあつたが冷静に対処し、開始一分過ぎに狙い澄ました小外刈で豪快に一本を奪う。

大将の齋藤は、積極的に勝負に行かなければならない場面であつたが、相手の圧力が強く得

意の組み手にさせてもらなかつた。消極的になつたところ「指導三」を受け、そのまま時間切れとなりチームは 1 対 2 で敗戦となる。

京都府とは、ほぼ互角の実力であり、自分の力を出し切れば勝つていた試合もあつただけに自分の柔道を出し切る強い精神力と勝負へのこだわりというのが足りなかつたのではと感じております。

更に精進を重ね最強・最高のチーム作りに励みたいと思えます。

関係各位に感謝申し上げますと共に平成 25 年東京都国体での活躍を誓い、大会結果の報告とさせていただきます。ありがとうございました。

静岡県警察 渡辺達也



選手と関係者

第33回国体東海ブロック大会

平成24年8月19日 愛知県武道館

少年男子

静岡1ー①愛知
静岡4ー0三重

少年女子

本大会出場は2勝の愛知県
静岡0ー2愛知
静岡3ー0三重

成年女子

本大会出場は2勝の愛知県
静岡1ー2三重
静岡1ー①愛知

出場選手

少年男子

監督 小柳津敬博 (東海大学翔洋高校教諭)

コーチ 渡部直樹 (静岡学園高校教諭)

選手 佐藤和哉 (静岡学園高校)

渡辺浩貴 (浜松商業高校)

齊藤光星 (加藤学園高校)

佐藤光将 (静岡学園高校)

鈴木優希 (常葉学園橘高校)

少年女子

監督 西川勝啓 (裾野高校教諭)

コーチ 磯部拡美 (庵原高校教諭)

選手 滝川真央 (富士市立高校)

村山のどか (沼津市立沼津高校)

岡本理帆 (藤枝順心高校)

成年女子

監督 間宮幸男 (浜松学院高校教諭)

コーチ 磯部拡美 (庵原高校教諭)

選手 土屋文香 (東海大学)

村瀬由樹 (国際武道大学)

選手 山下まな実 (日本体育大学)

以上の結果、成年女子・少年

女子・少年男子共に本大会出場

はならなかった。

国体スタッフ

強化委員長 石川裕章 (静岡県柔道協会)

事務局長 佐々木秀男 (静岡県柔道協会)

事務局次長 伊藤武治 (静岡県柔道協会)

総務 宮本昌人 (常葉学園高校教諭)

医科学 加藤伸司 (常葉学園橘高校教諭)

トレーナー 赤池理 (アライケ鍼灸接骨院)

第54回

静岡県柔道祭開催

平成24年5月6日午前9時30分開始

静岡県武道館

恒例の柔道祭が今年度も県武

道館で開催された。安齊会長の

挨拶に続き、富士市立高校の滝

川真央さんにより選手宣誓が行

われた。滝川さんは第34回全国

高等学校柔道選手権大会女子無

差別級で3位に入賞しており、

初々しい宣誓をしてくれた。選

手宣誓に続き、恒例の柔道協会

表彰が行われ、次の方々が表彰

された。

《特別功労賞》

七段 山梨公良

七段 館山紀生

《永年功労賞》

七段 前田伸太郎

七段 齊藤剛

七段 福村忠史

六段 大村勝利

六段 鈴木孝昌

六段 山之内良彦

六段 新村昌司

四段 清水虔

《功労賞》

六段 茶山和己

五段 沖義和

五段 松下満男

四段 加藤吉行

三段 加藤伸司

《優秀指導者賞》

女子三段 沼野由香利

(藤枝順心高校柔道部顧問)

岡本理帆選手を育成

六段 須田直之

(沼津市立沼津高校柔道部顧問)

村山のどか選手を育成

《優秀選手賞》

女子初段 岡本理帆 (藤枝順心高校)

2011ワールドカップ柔道

チェジュ大会女子48kg級優勝、

第34回全国高等学校柔道選手

権大会女子52kg級優勝

女子初段 村山のどか (沼津市立沼津高校)

第34回全国高等学校柔道選手

権大会女子70kg級優勝

初段 佐藤和哉 (静岡学園高校)

第34回全国高等学校柔道選手

権大会男子無差別級3位

女子初段 滝川真央 (富士市立高校)

第34回全国高等学校柔道選手

権大会女子無差別級3位

女子初段 遠田真子 (東海大学付属翔洋高校)

平成24年度全日本カテ柔道体重

別選手権大会女子70kg級3位

表彰に続き試合が開始された。

毎年のことではあるが、小学生

から一般まで県内の柔道選手が

一堂に集まる唯一の大会で、県

武道館は大いに盛り上がり、観

客席から大きな声での声援が送

られていた。

第54回静岡県柔道祭成績

団体戦成績

小学生の部

1位 育誠館

2位 清水町柔道会

3位 伊豆長岡柔道会

3位 大仁柔道会

中学男子の部

1位 静岡学園中学校

2位 細江中学校

3位 錦田中学校

3位 藤枝明誠中学校

中学女子の部

1位 藤枝順心中学校

2位 東海大学付属翔洋中学

3位 沼津市立沼津中学

3位 長岡中学

高校男子の部

1位 静岡学園高校

2位 浜松商業高校

3位 加藤学園高校

3位 常葉学園橘高校

高校女子の部

1位 藤枝順心高校

2位 富士市立高校

3位 東海大学付属翔洋高校

3位 焼津高校

一般の部

1位 静岡県警察

2位 静岡産業大学A

3位 富士市柔道会

3位 東海翔柔クラブ

優秀選手

小学生の部

宇佐美菜海 (育誠館)

澤崎莉子 (清水町柔道会)

中学男子の部

岡本龍司 (静岡学園中学)

植村恵吾 (細江中学)

中学女子の部

鈴木茉莉 (藤枝順心中学)

安竹真利奈 (東海大学付属翔洋中学)

高校男子の部

浅賀慎太郎 (静岡学園高校)

渡辺毅輝 (浜松商業高校)

高校女子の部

吉長桃子 (藤枝順心高校)
滝川真央 (富士市立高校)

一般の部

眞野洋光 (静岡県警察)
関根龍成 (静岡産業大学 A)

柔道協会
優秀選手表彰

恒例の静岡県柔道協会優秀選手表彰が11月24日(土) ホテル

シティオ静岡で行われた。対象者は新人選手紹介コーナーで紹介する以下の選手たちである。岡本理帆さん(藤枝順心高等学校)は今年度多くの大会で活躍し、大きく飛躍した一年だったと思う。平成24年度全日本選抜柔道体重別選手権大会女子48kg級第2位、全国高等学校総合体育大会柔道競技女子48kg級優勝、全日本ジュニア柔道体重別選手権大会女子48kg級優勝、2012アジアジュニアユース柔道選手権大会優勝、講道館杯全日本柔道体重別選手権大会第3位とジュニアレベルだけでなくシニアのレベルでもすばらしい成績を残しており、世界が視野に入っている。村山のどかさ(沼津市立沼津高等学校)も期待の選手で順調に成長している。全国高等学校総合体育大会

柔道競技女子70kg級で準優勝した。滝川真央さん(富士市立高等学校)も注目されている選手で、順調に成長している。全国高等学校総合体育大会柔道競技女子78kg級で準優勝した。4人は鈴木茉莉さん(藤枝順心中学校)で、全国中学校総合体育大会柔道競技女子44kg級準優勝した。



受賞者を囲んで

また、優秀指導者として沼野由香利先生(藤枝順心高等学校教諭)が表彰された。受賞理由は「藤枝順心高等学校の教え子岡本理帆選手が全国大会・アジア大会で3度にわたり優勝。その指導力を讃え優秀指導者賞を贈る。」とされている。おめで

とうございます。

安齊会長から挨拶が行われた後、賞状と記念品が参加者に授与された。選手を代表して藤枝順心中学校の鈴木茉莉選手がお礼の言葉を述べ閉会しました。

平成24年度静岡県体育協会体育章受賞
高田勝之(静岡県柔道協会)
奨励賞受賞
岡本理帆(藤枝順心高校)
村山のどか(沼津市立沼津高校)
遠田真子(東海大学翔洋高校)

各種大会の報告

第34回
全国高等学校柔道選手権大会

平成24年3月19日(月)20日(火)祝
日本武道館

男子団体
静岡学園高校(2人残し) 埼玉栄高校 初戦敗退
女子団体
1回戦
沼津市立沼津高校2-0高松商業高校(香川)
2回戦
沼津市立沼津高校2-1柴田高校(宮城)
3回戦
沼津市立沼津高校0-2敬愛高校(福岡)

男子個人

60kg級 大場隆成(浜松城北工業高校) 初戦敗退
73kg級 新美公秀(浜北西高校) 初戦敗退
81kg級 浅賀慎太郎(静岡学園高校) 初戦敗退
90kg級 伴野祐樹(新居高校) 初戦敗退
無差別級 佐藤和哉(静岡学園高校) 3位

女子個人

52kg級 岡本理帆(藤枝順心高校) 優勝
57kg級 前山理菜(加藤学園高校) ベスト16
63kg級 吉川稜子(沼津市立沼津高校) 初戦敗退
70kg級 村山のどか(沼津市立沼津高校) 優勝
無差別級 滝川真央(富士市立高校) 3位

全日本女子柔道選手権大会

平成24年4月15日(日)
横浜文化体育館
滝川真央(富士市立高校) 選手出場

全日本柔道選手権大会

平成24年4月29日(日)
日本武道館
増田圭昌(静岡県警察) 選手出場

第32回全国少年柔道大会

平成24年5月5日(土・祝)
講道館
団体戦
清水町柔道会 初戦敗退
個人戦
5年生 殿岡慎平(清水町柔道会) 初戦敗退
6年生 澤崎莉子(清水町柔道会) 2回戦進出

全日本選抜柔道体重別選手権大会

平成24年5月12日(土)・13日(日)
福岡県
女子
48kg級 岡本理帆(藤枝順心高校) 準優勝

第59回

東海高等学校総合体育大会柔道競技
平成24年6月16日(土)・17日(日)
岐阜県大垣武道館
男子団体 静岡学園高校 3位
女子団体 富士市立高校 2位
男子
60kg級 小林駿平(静岡学園高校) 3位
73kg級 岩澤勇佑(加藤学園高校) 2位
81kg級 浅賀慎太郎(静岡学園高校) 優勝

90 kg級 植田蒼太郎 (浜松商業高校)
 3位
 100 kg超級 優勝 佐藤和哉 (静岡学園高校)

女子
 48 kg級 2位 岡本里帆 (藤枝順心高校)
 57 kg級 優勝 益子楓彩奈 (藤枝順心高校)
 63 kg級 3位 神林希衣 (加藤学園高校)
 70 kg級 優勝 村山のどか (沼津市立沼津高校)
 78 kg級 2位 菊池優貴乃 (静岡学園高校)
 78 kg超級 3位 伊藤 愛 (東海大学翔洋高校)
 3位 滝川真央 (富士市立高校)

マルちゃん杯柔道大会小学生の部
 平成24年6月24日(日)
 長野県松本市
 清水町柔道会
 第3位 全国大会出場

全日本ジュニア柔道体重別選手権大会
 平成24年6月30日(土)
 静岡県武道館

男子
 55 kg級 優勝 小林大貴 (加藤学園高校)
 60 kg級 優勝 鈴木優希 (常葉学園橋高校)
 東海大会優勝全国大会出場

66 kg級 優勝 佐藤光将 (静岡学園高校)
 73 kg級 優勝 秋本健吾 (常葉学園橋高校)

81 kg級 優勝 浅賀慎太郎 (静岡学園高校)
 90 kg級 優勝 齊藤光星 (加藤学園高校)
 100 kg級 優勝 渡辺浩貴 (浜松商業高校)
 100 kg超級 優勝 佐藤和哉 (静岡学園高校)

女子
 44 kg級 優勝 鈴木茉莉 (藤枝順心高校)
 48 kg級 優勝 岡本理帆 (藤枝順心高校)
 52 kg級 優勝 渡辺香奈 (藤枝順心高校)
 57 kg級 優勝 益子楓彩奈 (藤枝順心高校)
 63 kg級 優勝 古川綾子 (沼津市立沼津高校)
 70 kg級 優勝 村山のどか (沼津市立沼津高校)
 78 kg級 優勝 菊池優貴乃 (静岡学園高校)
 78 kg超級 優勝 滝川真央 (富士市立高校)

東海地区形競技大会
 平成24年7月1日(日)
 静岡県武道館
 投の形 渡辺成也 五段
 佐藤邦洋 五段
 固の形 森田賢一 四段
 高林祐介 五段
 極の形 杉山元彦 六段
 中道修二 五段
 柔の形 安竹克好 五段
 渡邊武彦 五段
 講道館護身術 一瀬 誠 六段
 竹内紀久夫 六段
 五の形 白井康二 七段
 中村寿一 七段
 古式の形 渡辺達也 七段
 小野瀬康行 七段
 全国大会出場

平成24年度静岡県成年柔道体重別選手権大会
 (兼国民体育大会柔道競技選手選考会)
 平成24年7月7日(土)
 静岡県武道館
 成年男子優勝者
 60 kg級 大石悠太 (近畿大学)
 73 kg級 鈴木 隼 (拓殖大学)

90 kg級 山下諒輔 (静岡県警察)
 無差別級 齊藤和仁 (静岡県警察)
 成年女子優勝者
 52 kg級 山下まな実 (日本体育大学)
 70 kg級 村瀬由樹 (国際武道大学)
 無差別級 土屋文香 (東海大学)

第61回全国高等学校柔道大会
 平成24年8月2日(木)~6日(月)
 富山県

男子団体戦
 1回戦 静岡学園高校4-0秋田高校
 2回戦 静岡学園高校1-3前橋育英高校
 女子団体戦
 1回戦 沼津市立沼津高校2-1豊岡高校
 2回戦 沼津市立沼津高校①-1桐蔭学園高校
 3回戦 沼津市立沼津高校2-1柳ヶ浦高校
 準々決勝 沼津市立沼津高校0-2阿蘇中央高校
 (ベスト8進出)

男子
 60 kg級 小林駿平 (静岡学園高校) 2回戦進出
 66 kg級 佐藤光将 (静岡学園高校) 3回戦進出
 73 kg級 秋本健吾 (常葉学園橋高校) 2回戦進出
 81 kg級 浅賀慎太郎 (静岡学園高校) 初戦敗退

90 kg級 齊藤光星 (加藤学園高校) 初戦敗退
 100 kg級 篠田大希 (御殿場西高校) 初戦敗退
 100 kg超級 佐藤和哉 (静岡学園高校) 第5位入賞 (ベスト8)

女子
 48 kg級 岡本理帆 (藤枝順心高校) 優勝
 52 kg級 馬場あゆ美 (東海大学翔洋高校) 初戦敗退
 57 kg級 益子楓彩奈 (藤枝順心高校) 初戦敗退
 63 kg級 古川綾子 (市立沼津高校) 第5位入賞 (ベスト8)
 70 kg級 村山のどか (市立沼津高校) 準優勝
 78 kg級 菊池優貴乃 (静岡学園高校) 2回戦進出
 78 kg超級 滝川真央 (富士市立高校) 準優勝

※各階級県大会優勝者、優勝チームが全国大会に出場している。
 平成24年度
 東海中学校総合体育大会柔道競技
 平成24年8月8日(水)・9日(木)
 静岡市立北部体育館

男子団体 静岡学園中学校 3位
 女子団体 東海大学翔洋中学校 3位
 藤枝順心中学校 3位

男子
55 kg 級
優勝 芹沢翔哉 (函南中学)

2 位 上村悠真 (高台中学)

3 位 羽田野航 (大安中学)

66 kg 級
3 位 塚本瑠羽 (市立沼津中学)

73 kg 級
3 位 飯川夢二郎 (金岡中学)

81 kg 級
3 位 辻幸之介 (沼津市立沼津中学)

90 kg 級
3 位 大橋昂文 (錦田中学)

90 kg 超級
3 位 福井洋貴 (細江中学)

女子
3 位 月岡校早瀬 (静岡学園中学)

40 kg 級
2 位 松浦都衣 (愛鷹中学)

3 位 安食亜美 (藤枝順心中学)

44 kg 級
優勝 鈴木茉莉 (藤枝順心中学)

3 位 小林夏希 (暁秀中学)

48 kg 級
3 位 成宮妃世梨 (藤枝順心中学)

52 kg 級
3 位 加藤樹梨 (錦田中学)

57 kg 級
3 位 菊池涼音 (長岡中学)

70 kg 級
3 位 楠 麻衣 (長岡中学)

全国教員大会

平成 24 年 8 月 12 日 (日) 講道館

監督 藤田明啓 (浜松西高校)

先鋒 川端常弘 (湖西高校)

次鋒 大原尚喜 (新居高校)

中堅 井口往彦 (浜北西高校)

副将 山崎大介 (磐田南高校)

大将 高田幸治 (城南静岡高校)

1 回戦 静岡 3-1 福岡

2 回戦 静岡 2-1 長野

3 回戦 静岡 2-1 岩手 (代表戦勝)

準々決勝 静岡 2-1 3 大阪

監督の浜松西高校教諭の藤田先生より、「選手の頑張りによりベスト 8 進出という大変貴重で有意義な経験をする事ができました。安齊会長をはじめ多大な御支援をいただき誠にありがとうございます。」というコメントをいただいています。貴重な経験を、各学校での先生方の指導に役立てていただきたいと思います。

第 43 回全国中学校柔道大会

平成 24 年 8 月 21 日 (火) ~ 24 日 (金) 神奈川県川崎市

男子団体戦
静岡学園中学校 1-1 広陵中学校
静岡学園中学校 0-5 国士館中学校
予選リーグ敗退

女子団体戦
東海大学翔洋中学校 3-0 大山口中学校
東海大学翔洋中学校 2-0 弥刀中学校
決勝トーナメント

東海大学翔洋中学校 0-2 藍住中学校

男子
50 kg 級 片桐大夢 (笠井中学) 初戦敗退

55 kg 級 芹沢翔哉 (函南中学) 初戦敗退

60 kg 級 高井陵太 (函南中学) 初戦敗退

66 kg 級 塚本瑠羽 (沼津市立沼津中学) 初戦敗退

73 kg 級 飯川夢二郎 (金岡中学) 第 5 位入賞 (ベスト 8)

81 kg 級 石神倫哉 (静岡学園中学) 初戦敗退

90 kg 級 大橋昂文 (錦田中学) 2 回戦進出

90 kg 超級 小笠原雄也 (藤枝明誠中学) 第 5 位入賞 (ベスト 8)

女子
44 kg 級 鈴木茉莉 (藤枝順心中学) 準優勝

48 kg 級 成宮妃世梨 (藤枝順心中学) 2 回戦進出

52 kg 級 加藤樹梨 (錦田中学) 初戦敗退

57 kg 級 瀬川佑希 (沼津市立沼津中学) 初戦敗退

63 kg 級 安竹真利奈 (沼津市立沼津中学) 3 回戦進出 (ベスト 16)

70 kg 級 楠 麻衣 (長岡中学) 3 回戦進出 (ベスト 16)

70 kg 超級 大澤宜歩 (御前崎中学) 初戦敗退

各階級県大会優勝者が全国大会に出場している。

※女子 40 kg 級は正式種目ではないが全日本カデ大会選考会として実施され、小林夏希 (暁秀中学校) が出場し優勝した。

第 9 回全国小学生学年別柔道大会

平成 24 年 8 月 26 日 (日) 鹿児島

男子 5 年 柴田蓮音 (清水柔道倶楽部) 3 回戦進出

45 kg 超級 伊藤栄都 (育誠館) 2 回戦進出

男子 6 年 村松考紀 (静岡錬心館) 初戦敗退

50 kg 超級 杉本康平 (清水町柔道会) 初戦敗退

女子 5 年 袴田佳名瑚 (育誠館) 2 回戦進出

40 kg 超級 山本 杏 (神土館) 3 回戦進出

女子 6 年 田島小夏 (大仁柔道会) 2 回戦進出

45 kg 超級 澤崎莉子 (清水町柔道会) 3 回戦進出

6 月 10 日に実施された県大会の各階級優勝者が全国大会に出場している。

全国ジュニア柔道大会

平成 24 年 9 月 8 日 (土) ~ 9 日 (日) 埼玉県

男子
60 kg 級 鈴木優希 (常葉学園高校) 初戦敗退

100 kg 超級 佐藤和哉 (静岡学園高校) 2 回戦進出

女子
48 kg 級 岡本理帆 (藤枝順心高校) 優勝

57 kg 級 益子楓彩奈 (藤枝順心高校) 初戦敗退

アジアジュニアユース大会

平成 24 年 9 月 25 日 (火) ~ 10 月 1 日 (月) 台湾

女子
48 kg 級 岡本理帆 (藤枝順心高校) 優勝

第 29 回静岡県大学高等柔道秋季優勝大会

平成 24 年 11 月 3 日 (土・祝) 静岡市北部体育館

団体の部
優勝 静岡産業大学 B

2 位 静岡産業大学 A

3 位 東海大学

個人戦の部
女子の部

優勝 坂本由里 (東海大学)

無段の部

優勝 杉山雅人 (静岡文芸大学)

66 kg級

優勝 岩本洋範 (東海大学)

81 kg級

優勝 坂本健驢 (静岡産業大学)

81 kg超級

優勝 森田悠斗 (静岡産業大学)

第35回全国高等学校
柔道選手権大会 (男女個人戦)

平成25年1月13日 (日)

静岡県武道館

女子

52 kg級

優勝 渡辺香奈 (藤枝順心高校)

57 kg級

優勝 益子楓彩奈 (藤枝順心高校)

63 kg級

優勝 神林希衣 (加藤学園高校)

70 kg級

優勝 仁科鈴菜 (富士市立高校)

無差別級

優勝 滝川真央 (富士市立高校)

男子

60 kg級

優勝 小林駿平 (静岡学園高校)

73 kg級

優勝 岩沢勇佑 (加藤学園高校)

81 kg級

優勝 佐野安大 (静岡学園高校)

90 kg級

優勝 斉藤光星 (加藤学園高校)

無差別級

優勝 佐藤和哉 (静岡学園高校)

第35回全国高等学校
柔道選手権大会 (男女団体戦)

平成25年1月26日 (土)

静岡県武道館

女子団体戦

優勝 藤枝順心高校

男子団体戦

優勝 静岡学園高校

平成25年3月19日 (火)・20日 (水)
祝) 日本武道館で開催される全
国大会に出場する。

平成25年度静岡県柔道選手権大会
(全日本選手権大会県予選)

平成25年2月2日 (土)

女子

優勝 滝川真央 (富士市立高校)

2位 土屋文香 (東海大学)

男子

優勝 佐藤和哉 (静岡学園高校)

推薦 増田圭省 (静岡県警察)

以上4名が東海大会出場



柔道教室

西部地区

親子柔道教室開催

浜松市武道館

平成24年11月4日午後1時から
午後3時30分まで

講師 溝口紀子 (静岡文化芸術

大学准教授、バルセロナオリ

ピック銀メダリスト)

講師 ジェレミ・アンドリュ (フ

ランススポーツ指導員、フラン

ス選手権66kg級優勝)

幼稚園の年少から小学3年生

以下を対象にした第2回親子柔

道教室が西部地区で開催され

た。女性人口を増やす対策の

一環として県下3地区で計画さ

れたが、その西部地区での実践

である。西部地区各道場に所属

する子どもだけでなく一般の子

どもたちも参加してくれた。合

わせて保護者の皆さんも参加し

ていただいた。子どもたちが

131人、保護者65人、指導者

30人の参加であった。

今回は講師に、フランスの柔

道界に詳しい溝口先生と、フラ

ンススポーツ指導員でフランス

選手権66kg級で優勝経験のある

ジェレミ・アンドリュ先生を迎

えて行われた。柔道の人気が高
く、柔道人口が非常に多いフラ
ンス流の指導の一環を経験する
ことができた。

最初に溝口先生とアンドリュ
先生から柔道の基本的な準備体
操の指導がなされた。子どもた
ちは本当に楽しそうに親子で取
り組んでいた。

後半はアンドリュ先生から柔
道の実技が紹介され、浜松西高
校OBで筑波大学学生の鈴木君を
受けに切れの良い技を披露して
くれた。

中部地区

親子柔道教室開催

平成24年8月26日 (日) 午前

10時から正午まで静岡市北部体

育館柔道場で開催された。参加

者は、大人男性19人、女性10人 (内

有段者3人)、子ども男子26人女

子14人、指導者15人であった。

指導内容は、開講式に続き、エ

アロピックスを取り入れた準備運

動、ゆかいな柔道ゲーム、礼法指

導、受身指導、お父さん・お母さ

んを投げ飛ばせ、閉校式と楽しそ
うなメニューで行われた。



お父さんを投げよう



バランスいいね



基本が大事

教室参加者からは以下のような
意見や感想が寄せられています。
・始めて柔道衣を着ましたが、
心が清潔になったような気が
しました。
・親子で組み合うことで日常にな
いスキンシップができました。
・女性指導者の優しい言葉や接
し方が柔道へ導くうえで男
性指導者にはない魅力である。

- ・プロの指導者によるエアロビクスを準備運動に取り入れたが好評であった。
- ・100名を超える参加者があり楽しい教室であった。
- ・50着を超えるレンタル柔道衣の洗濯には苦労する。



正しい座礼を

東部地区

東部地区では「エアロビ柔道」が長年実践されていていて。毎週水曜日午後7時から8時30分、沼津市立沼津高等学校柔道場で開催されている。

「年齢に関係なく、健康で『柔道の礼法・受身』などを体得し、怪我防止と体力増強を目指したい人、また子どもや孫と遊びたい人」を対象に、「全市民、礼と受身の体得を」をスローガンに掲げ行なわれている。

道場紹介

どうじょう どうじょうかみ

県内各地でがんばっている「道場」を各地区2道場ずつ紹介します。

- ①名称
- ②住所(練習場所)
- ③連絡先
- ④代表者氏名
- ⑤所属人数

清流館

- ②裾野市深良1764-1 (山縣哲夫)
- ③〒410-1102 裾野市深良1764-1 山縣哲夫 055-997-2779
- ④山縣 司
- ⑤児童3人、小学生15人、中学生11人、高校生5人、大学生3人、社会人17人

⑥道場紹介

昭和58年に山縣道場を開設、以来地域や近隣市町の柔道修行者の受け皿として活動してきました。汗を流せる道場、自らを鍛える道場として「精進」をモットーに幼児から大人までが各人の目標を持って努力を続けています。

平成13年に清流館と改名。特に汗の中から生まれる「勇氣」、対決する経験から生まれる「自信」、自分と対峙することから生まれる「自覚」、柔道衣を着続けることから生まれる「誇り」等、人格を支えていく中心の柱を大切にして日々の稽古を重ねています。



御殿場市柔道連盟

- ②御殿場市ぐみ沢670-1 市民体育館 (火曜日・土曜日、午後6時30分～午後8時) 御殿場市ぐみ沢644 御殿場西高校 (木曜日、午後6時30分～午後8時)
- ③〒412-0042 御殿場市萩原1278-18 0550-83-8170
- ④顧問 内海隆治 会長 矢後 忠
- ⑤児童11人、小学生32人、中学生5人、高校生0人、大学・社会人8人



⑥道場紹介

御殿場市柔道連盟の前身は、昭和23年7月に当時の玉穂村長、江藤誠之氏を会長とし、北駿柔道倶楽部として発足しました。当時は米軍が、滝が原・板妻・駒門と駐留し、占領下の町の風紀は乱れ、住民は恐怖と屈辱を受けながら戦後の復興に励んでいました。青少年健全育成を旗印に稽古に励み、米軍兵にも柔道指導を行い軍指令以下に大変感謝され、日米親善と市民の人心安定と自信回復に寄与し、顧問内海隆治前会長の元に現在に至っています。

現在は、幼児・小学生・中学生・高校生・一般と広く地域と一体となり楽しく稽古に励んでいます。

蓮柔館

- ②藤枝市羽羽町5-16-12
- ③〒426-0087 藤枝市羽羽町5-16-12 054-644-4690
- ④鈴木 勝
- ⑤児童2人、小学生12人、中学生6人、高校生0人、大学・社会人0人

蓮柔館は平成20年4月青少年の健全育成を目的として開館しました。毎週月曜日・火曜日・木曜日は西益津中学校柔道場、金曜日は藤枝西高校柔道場で練習しています。練習時間は午後7時から午後9時までです。

柔道を通じ、精神面・肉体面の強化を含め、礼儀作法等の向上にも努めていきたいと思っています。また、一日一日の練習を大切にして、全国大会への出場を目標に頑張っています。



しずはたスポーツクラブ
 ②〒420-0063
 静岡市葵区通車町2-5
 ③加藤茂 054-252-5510
 ④加藤一郎
 ⑤児童・小学生15人
 中学生4人
 高校・大学生4人
 一般15人

⑥道場紹介

私たち「しずはたスポーツクラブ」は、毎週月、水、金の3日間、午後6時30分から午後9時まで静岡市立北部体育館柔道場(月曜日は賤機中学校柔道場)で、未就学児から大人までが汗を流しています。

当クラブでは礼法を厳しく指導するとともに、怪我をしない体作りを目的としており、子どもたちに「何でも良いから一番になりなさい」と言い聞かせています。「僕は一番大きな声を出すよ」「私は一番早く道場へ行くよ」と、それぞれが自分の「一番」になれるように稽古に励んでいます。

また、基本を習熟させるため、準備運動時に近代的なトレーニングを織り交ぜ、受身も一回一回丁寧に確認しながら行っています。
 当クラブでは見学・体験も受

け付けています。初心者はもちろん、経験者の方の参加をお待ちしています。



積武館
 ②浜松市東区有玉北町1200
 浜松市立積志中学校柔道場
 ③〒431-3112
 浜松市東区大島町1148-2
 053-435-0614
 ④渡邊正人
 ⑤児童0人、小学生28人、
 中学生11人、
 一般13人(内指導者10人)



浜岡黒潮柔道スポーツ少年団
 ②御前崎市立浜岡中学校柔道場
 ③〒437-1612
 御前崎市池新田1683-19
 0537-86-7310
 ④栗田徳光
 ⑤児童0人、小学生14人、中学生6人、
 高校生0人、一般4人

⑥道場紹介

地域の中学生・高校生・一般有志により昭和2年に発足し、その翌年より「積武館」の看板を掲げ、今年で設立84周年を迎える大変歴史のある道場であります。

現在は小学生・中学生を中心に、火曜日・金曜日の午後7時30分から約2時間、日曜日の午前8時30分から約3時間の練習に励んでいます。
 私達は、「自分の為にする事が、他の人の為になる!」という気持ちで日々稽古に取り組み、試合はそれを試させてもらう処、そして次への目標を見つけ又精



進するということを中心に心がけています。
 柔道を通して、強い心と体を作り、将来社会の役に立てる人の育成を目指して努力しております。

昭和32年の浜岡町体育協会設立に伴い、柔道経験者が集い体育協会柔道部を立ち上げました。昭和45年には、県の青年大会を制して全国大会出場を果し、体育協会柔道部の発展に大きく寄与しました。また、スポーツ少年団制度の発足を受け、体育協会柔道部の有志が指導者となり、町内の小学生を対象に、浜岡黒潮柔道スポーツ少年団として登録し活動を続けています。
 浜岡黒潮柔道スポーツ少年団団結成後、池新田高校の柔道場を借りての練習でしたが、浜岡中学校の柔道場の完成を機に練習場所を移し、練習も月曜日・水曜日・金曜日の夜3回に変更しました。毎週水曜日には、スポーツ少年団の練習終了後に中学生・高校生・一般との合同練習を追加し、後進の育成に当たっています。
 道場に掲げられた『尊礼修道』・『力必達』の額の言葉を胸に、日夜稽古に励んでいます。



新人選手紹介コーナー

例年どおり、今年度もこのコーナーで紹介できる選手が数多くでした。柔道協会としては本当に嬉しいことだと思う。全国大会で3位までに入賞した若い選手（高校生以下の選手）を紹介しているコーナーで、今年度は6名の選手を紹介することができる。中には連続して紹介する選手もあり、「新人」ではないかもしれないが順調に成長している様子が伺われる。

平成24年度全日本カデ柔道体重別選手権大会女子70kg級3位の遠田真子さん（東海大学翔洋高等学校）、第34回全国高等学校柔道選手権大会男子無差別級3位入賞の佐藤和哉君（静岡学園高等学校）、2011ワールドカップ柔道チェジュ大会女子48kg級優勝、第34回全国高等学校柔道選手権大会女子52kg級優勝、平成24年度全日本選抜柔道体重別選手権大会女子48kg級準優勝、全国高校総合体育大会女子48kg級優勝、全日本ジュニア柔道体重別選手権大会女子48kg級優勝、2012アジアジュニアユース柔道選手権大会女子48kg級優勝、講道館杯全日本柔道体重別選手権大会女子48kg級3位の岡本理帆さん（藤枝順心高等学校）、第34回全国高等学校柔道選手権大会女子70kg級優勝、平成24年度全国高校総合体育大会女子70kg級準優勝の村山のどかさん（沼津市立沼津高等学校）、第34回全国高等学校柔道選手権大会女子無差別級3位、平成24年全国高校総合体育大会女子無差別級準優勝の滝川真央さん（富士市立高等学校）、平成24年度全国中学校総合体育大会女子44kg級準優勝の鈴木茉莉さん（藤枝順心中学校）の6人を紹介する。

昨年は例年になく男子選手が頑張ってくれましたが、今年度は女子選手が活躍する例が多かった。特に、岡本里帆さん（藤枝順心高校）はジュニア世代の大会だけでなくシニアの大会でも大活躍し、国内だけでなく国際大会でも実績を残し、オリンピック出場も視野に入ってきたと思う。



遠田 真子さん

（東海大学翔洋高等学校）

◎平成24年度全日本カデ柔道
体重別選手権大会
女子70kg級3位

昨年もこのコーナーで紹介した遠田さんですが順調に実力を伸ばしているようです。昨年紹介したように、遠田さんが柔道を始めたきっかけは「父と兄の影響で」と言うことで、まさに柔道一家だと言えます。

今回の入賞については「去年が優勝だったので、正直悔しいです。もつとがんばって絶対に勝てるようにしたいです。」と、当然ですが嬉しさよりも、悔しさのほうが大きいようです。今後については「一戦一戦集中して戦いたい。」と前向きな姿勢を見せています。

全国中学校柔道大会でも5位

に入賞し、昨年のカデ大会に続いて全国レベルの大会での入賞です。将来の夢は「まずは日本一を目指し、最終的には世界一になりたいです。」と大きな夢を持っていきます。顧問の山梨先生からは「受けは元来良いものを持っていきますから、攻撃の技術（技）を身に付けなければいけないと思います。」とアドバイスを贈られています。遠田さんの今後の活躍を期待します。



佐藤 和哉君

（静岡学園高等学校）

◎第34回全国高等学校柔道選手権大会
男子無差別超級3位

佐藤和哉君もこのコーナーでは常連になっており、常に全国レベルの大会に出場し上位に入賞しています。本人の努力や関係者の指導で順調に成長して

ることが分かります。すでに紹介したように、柔道を始めたきっかけは「父に勧められたこと」だそうです。将来の夢は「大学での活躍」とはつきりと目標を定めています。ぜひ夢を実現してください、そして日の丸を付けて欲しいものです。

指導者からは「日常の生活の中でもおごることなく勉強と柔道を両立させている。柔道日本一を目指し努力精進しているからこそ達成してほしい。」とさらなる飛躍を期待されています。



岡本 理帆さん

（藤枝順心高等学校）

◎2011ワールドカップ柔道
チェジュ大会
女子48kg級優勝

◎第34回全国高等学校柔道選手権大会

女子52kg級優勝

◎平成24年度全日本選抜柔道体

重別選手権大会

女子48kg級準優勝

◎全国高校総合体育大会

女子48kg級優勝

◎全日本ジュニア柔道体重別選

手権大会

女子48kg級優勝

◎2012アジアジュニアユ

ス柔道選手権大会

女子48kg級優勝

◎講道館杯全日本柔道体重別選

手権大会

女子48kg級3位

岡本さんも連続してこのコーナーで紹介している静岡県を代表する選手です。昨年紹介したように、岡本さんが柔道を始めたきっかけは「姉の影響」と柔道姉妹のようです。岡本さんも中学校時代から全国で活躍している選手ですが、高校でも着実に成長しています。今回の入賞については「この結果に満足せず、もっと上を目指してやっていきたいです。」と前を見据えて語ってくれました。高校生(ジュニア)世代だけでなくシニア世代でも十分通用する実力

を身につけていますから、今後ともぜひがんばって欲しいものです。日本を代表して国際大会への出場もあり、指導者からも「これからも頑張ってもらいたいと思います。」と期待されています。今後は国士館大学に進学され、さらに上を目指して『努力』と『研究』を重ねていかれるものと思います、頑張ってください。



滝川 真央さん

(富士市立高等学校)

◎第34回全国高等学校柔道選手

権大会

女子無差別級3位

◎平成24年全国高校総合体育大会

女子無差別級準優勝

滝川さんは友愛道場の出身で、お兄さんが友愛道場に通っていたことで、練習についていたのが柔道を始めたきっかけ

けになったそうです。今回のインターハイの準優勝という結果については「ポイントを取って、ラスト23秒で追いつかれ、ゴールデンスコアの末旗判定になり2対1の僅差判定だったの悔しいと最初に思いました。」と語っています。今後の夢は「まずは日本一になること。」だそうです。将来の進路については今のところ未定だそうです。指導されている勝呂先生からは「今年度は、皇后盃全日本女子柔道選手権大会を皮切りに、各種全国大会に出場することができ、実力もレベルアップしてきた。次回の高校選手権・高校総体とさらに良い結果ができるよう精進させたい。」と熱いエールが贈られています。



鈴木 茉莉さん

(藤枝順心中学校)

◎平成24年度全国中学校総合体育大会

女子44kg級準優勝

鈴木さんが柔道を始めたきっかけは「兄がやっていたから」という、ごく普通の理由からですが、大きく成長してきました。今回の入賞については「嬉しかったがまだまだだと思います。」と意欲的です。今後の夢は、ズバリ『全国制覇』だそうです。中学3年生ですが、これから高校でも大きく羽ばたいてくれることだと思います。鈴木さんの今後の活躍を期待します。



村山のどかさん

(沼津市立沼津高等学校)

◎第34回全国高等学校柔道選手

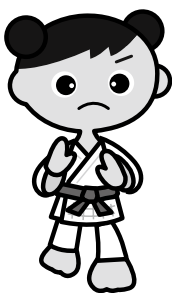
権大会

女子70kg級優勝

◎平成24年度全国高校総合体育大会

女子70kg級中準優勝

村山さんが柔道を始めたきっかけは他の多くの選手と同じで「兄が柔道をやっていたから」というものでした。今回の入賞に関しては「大変うれしく思います。」と控えめに喜びを語ってくれています。高校選手権優勝に続き、全国高校総合体育大会柔道競技(インターハイ)でも準優勝と、現在の高校生の中では日本のトップレベルの実力を有しています。今後は大学に進学し、さらに柔道が続け日本一を目指すそうです。指導されている須田先生からは「高校時代は基礎基本をみっちり教え込みました。まだまだ伸びしろや潜在的な能力をたくさん持っていると思います。大学でも競技を続けるので大きく飛躍して日本を代表する選手に育ってほしいと思います。」と期待をこめて熱いエールを贈られています。



全柔連指導者資格 制度について

昨年 の 編 集 後 記 で 次 の よ う な 文 を 載 せ ま し た 。 『 中 学 校 で 武 道 必 修 化 に と も な い 柔 道 事 故 が 注 目 さ れ 、 柔 道 の 危 険 性 が 報 道 さ れ て い ま す 。 体 育 の 授 業 中 に 事 故 が 起 き て い る の で は な く 、 部 活 動 の 中 で の 事 故 で す の で 区 別 し な く て は な ら な い と い い ま す 。 し か し 、 身 を 守 る 柔 道 の 練 習 で 事 故 ・ 怪 我 が 発 生 し 命 を 失 う こ と が あ っ て は な り ま せ ン 。 事 故 発 生 を し っ かり 検 証 し 再 発 防 止 を 柔 道 界 全 体 で 取 り 組 ま な く て は な ら な い と い い ま す 。』

こ の こ と に つ い て 、 具 体 的 な 取 り 組 み が 始 ま り ま し た 。 全 柔 連 公 認 指 導 者 資 格 制 度 で す 。 昨 年 度 よ り 各 地 区 や 県 で 実 施 さ れ た 講 習 会 に 参 加 し た 指 導 者 を 公 認 指 導 者 と し て 認 定 し て い く 制 度 で す 。

す で に 講 習 が 終 了 し 、 A から C の 区 分 を し て 県 から 全 柔 連 に 名 簿 が 提 出 さ れ 、 認 定 が 行 わ れ 、 平 成 25 年 4 月 よ り 制 度 が 開 始 さ れ る 予 定 に な っ て い ま す 。

指 導 者 と し て 、 制 度 に 従 い 登 録 等 を し て い く こ と は 必 要 で す が 、 常 に 自 己 研 鑽 を 積 み 事 故 な ど が 起 き な い 指 導 を 心 が け 、 も

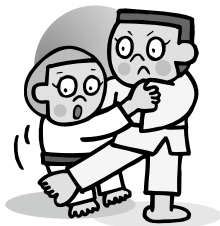
し 起 き て し ま っ た 時 は 、 適 切 な 対 応 が で き る こ と が 求 め ら れ ま す 。 柔 道 を 普 及 し て い く た め に は 必 要 な こ と だ と い い ま す 、 頑 張 り ま し ょ う 。

中学校武道必修化 に対応

柔道協会指導者派遣

中 学 校 で の 武 道 必 修 化 に 伴 い 、 柔 道 の 危 険 性 と 指 導 者 不 足 が 問 題 と な り ま し た 。 柔 道 協 会 で は 、 中 学 校 の 先 生 方 の 不 安 を 少 し で も 軽 減 し 生 徒 と っ て 良 い 柔 道 の 授 業 に な れ ば と い う こ と で 、 授 業 協 力 者 の 登 録 を 行 な い ま し た 。 多 く の 方 々 に 協 力 を い た だ き 有 が と う ご ざ い ま す 。 平 成 24 年 11 月 28 日 に は 登 録 を し て い た だ い た 方 々 の 授 業 参 加 ・ 研 修 会 を 開 催 し ま し た 。

「 巻 頭 言 」 で 高 田 先 生 か ら 体 験 記 を 紹 介 し て い た だ い て お り ま す が 、 中 学 校 で の 柔 道 指 導 が 安 全 か つ 有 意 義 な 授 業 に な る こ と を 期 待 し ま す 。



計 報



鈴木敏充 六段

平成 24 年 10 月 14 日 永 眠 (70 歳)

鈴 木 敏 充 先 生 は 昭 和 34 年 静 岡 県 立 掛 川 西 高 等 学 校 に 入 学 後 、 柔 道 部 に 入 部 し 渡 辺 富 士 松 氏 (六 段) に 師 事 し 柔 道 修 行 を 開 始 さ れ ま し た 。

高 校 卒 業 後 、 静 岡 鉄 道 管 理 局 に 入 社 し 、 中 西 儀 久 氏 (七 段) に 師 事 し 、 柔 道 を 続 け ま し た 。

そ の 後 、 昭 和 47 年 7 月 の 小 笠 町 (現 菊 川 市) 体 育 協 会 柔 道 部 創 設 時 に 参 加 し 、 活 動 を 続 け ら れ ま し た 。

昭 和 50 年 か ら は 、 小 笠 柔 道 ク ラ ブ の 指 導 者 と し て 、 小 学 生 か ら 一 般 の 道 場 生 を 指 導 さ れ ま し た 。

昭 和 61 年 か ら 、 静 岡 県 柔 道 協 会 西 部 地 区 幹 事 と な り 、 月 次 試 合 や 審 査 会 の 審 判 や 協 会 運 営 に 尽 力 さ れ ま し た 。

そ の 間 の 功 績 に よ り 、 平 成 8 年 に は 静 岡 県 柔 道 協 会 よ り 功 労 賞 を 授 与 さ れ ま し た 。

高 校 卒 業 後 、 勤 務 先 の JR 東 海

柔 道 部 及 び 母 校 の 掛 川 西 高 校 柔 道 部 へ の 指 導 を 続 け る と 共 に 、 掛 川 柔 道 俱 楽 部 に も 出 稽 古 を 続 け 、 50 歳 に な る ま で 継 続 さ れ ま し た 。

先 生 は 小 笠 町 (現 菊 川 市) の 柔 道 の 礎 を 築 き 、 そ の 発 展 に 大 き く 寄 与 さ れ ま し た 。

永 眠 さ れ る 一 週 間 前 ま で お 元 氣 で 、 子 ど も た ち に 柔 道 を 指 導 さ れ て い ま し た 。

本 当 に 柔 道 が 大 好 き な 先 生 で し た 。

先 生 の ご 冥 福 を お 祈 り い た し ま す 。



編 集 後 記

柔 道 し ず お か 16 号 を お 届 け し ま す 。

今 年 度 は 高 校 生 の 活 躍 が 顕 著 で し た 。

平 成 24 年 3 月 の 高 校 選 手 権 大 会 で 、 優 勝 者 が 2 人 (女 子 52 kg 級 の 岡 本 さ ん と 70 kg 級 の 村 山 さ ん) 、 3 位 が 2 人 (男 子 無 差 別 級 の 佐 藤 君 と 女 子 無 差 別 級 の 滝 川 さ ん) と い う す ば ら し い 結 果 を 残 し て く れ ま し た 。

国 民 体 育 大 会 で も 、 全 国 大 会 へ 出 場 で き る こ と を 確 信 し ま し た が 、 残 念 な が ら 成 年 男 子 の み の 出 場 で し た 。

来 年 こ そ は 全 種 目 の 出 場 を 目 指 し ま し ょ う 。

さ て 、 広 報 普 及 委 員 会 で は 、 今 年 は 昨 年 作 成 し た 柔 道 勧 誘 の た め の ポ ス タ ー を 中 止 し 、 柔 道 啓 蒙 ポ ス タ ー (形 の 名 称 ポ ス タ ー) を 作 成 し ま し た の で 、 各 道 場 で 御 活 用 く だ さ い 。

こ の こ と に 関 し て 皆 様 の ご 意 見 を お 聞 か せ く だ さ い 。

平 成 26 年 に 全 日 本 実 業 柔 道 団 体 対 抗 大 会 が 静 岡 県 で 開 催 さ れ る こ と に な り ま し た 。

全 日 本 カ ッ プ 大 会 以 来 の 全 国 大 会 で す 。

成 功 さ せ ま し ょ う 。

底 辺 拡 大 の た め の 親 子 の た め の 柔 道 教 室 を 各 地 区 で 開 催 し て い ま す 。

昨 年 度 西 部 地 区 が 開 始 し 、 3 地 区 全 て で 実 施 さ れ て 2 年 目 に な り ま す 。

今 後 と も 継 続 し 、 底 辺 拡 大 そ し て 静 岡 県 柔 道 界 の 発 展 に つ な が る こ と を 期 待 し ま す 。

広 報 普 及 委 員 会

委 員 長 宮 崎 貞 夫

